

みずほCustomer Desk Report 2019/04/18号(As of 2019/04/17)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.16
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.99	1.1285	126.35	1.3043	0.7165
SYD-NY High	112.17	1.1324	126.81	1.3066	0.7206
SYD-NY Low	111.92	1.1279	126.30	1.3029	0.7153
NY 5:00 PM	112.06	1.1292	126.57	1.3040	0.7179
NY DOW	26,449.54	▲ 3.12	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	7,996.08	▲ 4.15	日本10年債	-0.0100	1.00bp
S&P	2,900.45	▲ 6.61	米国2年債	2.4023	▲1.12bp
日経平均	22,277.97	56.31	米国5年債	2.4035	▲0.16bp
TOPIX	1,630.68	4.22	米国10年債	2.5931	0.18bp
シカゴ日経先物	22,280	15	独10年債	0.0800	1.55bp
ロンドンFT	7,471.32	1.40	英10年債	1.2350	1.65bp
DAX	12,153.07	51.75	豪10年債	1.9570	3.50bp
ハンセン指数	30,124.68	▲ 5.19	USDJPY 1M Vol	4.68	▲0.08%
上海総合	3,263.12	9.52	USDJPY 3M Vol	5.25	0.00%
NY金	1,276.80	▲ 0.40	USDJPY 6M Vol	5.83	▲0.02%
WTI	63.76	▲ 0.29	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
ORB指数	186.60	▲ 0.68	EURJPY 3M Vol	6.00	0.04%
ドルインデックス	97.01	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	6.58	▲0.02%

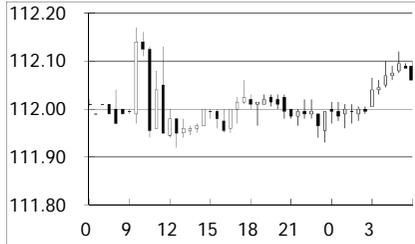
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月17日	08:50	日 貿易収支	3月 ¥528.5b	¥363.2b
	11:00	中 鉱工業生産/小売売上高(前年比)	3月 8.5%/8.7%	5.9%/8.4%
	11:00	中 GDP(前年比)	1Q 6.4%	6.3%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/1.9%	0.2%/2%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	3月 1%/1.4%	1%/1.4%
	21:30	米 貿易収支	2月 -\$49.4b	-\$53.4b
4月18日	03:00	米 ベージュブック	経済活動は僅かないし緩やかなペースで拡大	

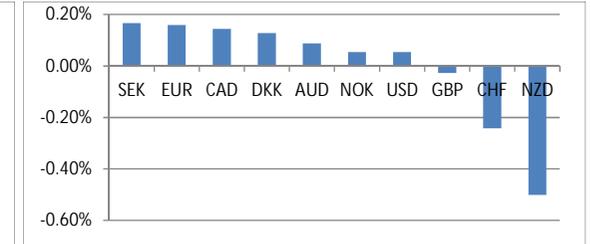
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月18日	10:30	豪 雇用者数変化/失業率	3月 15.0k/5%	4.6k/4.9%
	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 45/55/51.7	44.1/55.4/51.4
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料・前月比/前年比)	3月 -0.3%/4%	0.2%/3.8%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	3月 1.0%	-0.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 205k	196k
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 52.8/55/-	52.4/55.3/54.6

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.50	1.1250-1.1350	125.50-127.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は112円を意識した展開。一連の中国経済指標が予想を上回ったことや日米通商協議が無難に通過した安心感などから底堅い動き。米2月貿易収支では貿易赤字が予想を下回ったが、ドル円の反応は限定的であった。また、4月地区連銀経済報告では、3月と4月初めに米経済が僅かないし緩やかなペースで拡大したことが示された。世界的に株価も上昇し、グローバルなリスクセンチメントも良化していることなどから、本日のドル円は底堅い動きを予想する。

東京	東京オープン前、日米通商協議について米国側が対日貿易赤字を減らしたい意向であること、来週再交渉を行うこと等のヘッドラインが出たが反応は限定的となり東京時間のドル円は111.99レベルでオープン。日経平均株価が前日比プラスで寄り付き年初来高値を更新する中、日米通商協議を無難に通過した安心感もあってドル円は年初来高値を更新し112.17まで上昇。ただ買いは続かず111円台まで売り戻された。その後中国で発表された1~3月期GDP等の経済指標が底堅い結果となったことで再び買われる場面はあったものの上値は重く、111円台後半での推移が続き111.98レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は111.98レベルでオープン。前日終了した日米通商協議では懸念された為替条項に関する目立った言及がなかったことや当日アジア時間に発表された中国の指標が良好であったことに高値112.06を付けた。結局高値圏のまま111.99レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3062レベルでオープン。英3月CPI前年比が1.9%と市場予想2.0%を若干下回ったことや2月英住宅価格指数前年比は+0.6%と約6年半ぶりの鈍化となり英国の欧州連合離脱懸念の影響が浮き彫りとなったため1.3033まで下落した。1.3059レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	NY市場のドル円は111.99レベルでオープン。朝方の米2月貿易収支の結果発表では貿易赤字が予想を下回ったが、ドル円の反応は薄く、海外時間の流れを引き継ぎ112.00を挟んだ狭いレンジで推移。午後は「米中通商協議で早ければ5月下旬に合意書への署名を目指している」と米紙が報道したことや、トランプ米大統領が「中国との交渉はうまくいっている」と発言したことを受けて112.12まで上昇。終盤は小幅反落し、112.06レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは良好な中国経済指標にリスク選好ムードが強まり、欧州株が堅調に推移する中、一時1.1324まで上昇。その後、ドイツ政府が2019年の経済成長見通しを引き下げたことが伝わると反落し、1.1303レベルでNYオープン。朝方は「ポンド=ECB理事が「ユーロ圏経済は少なくとも下期に安定する見通し」と発言したが、ユーロドルの反応は限定的だった。その後新規材料が乏しい中、様子見ムードが強まり1.1300近辺で小動き。終盤は小幅下落し、1.1292レベルでクロスした。

本情報は提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・玉井